

和歌山との触れ合い

張 崱朋
交換留学生 中国

関西国際空港を出て南海線に乗って、泉佐野駅に乗り換えて、半時間ぐらい行くと、和歌山に到着します。近畿地方にある大変有名な都市と比べると、こちらの紀伊半島にある小さな山城ならではの独特さを感じながら、半年の交換留学生生活を始めました。和歌山市は、三面を太平洋に囲まれて、後ろにうねうねと連なる山並みがあります。わたしが住んでいる部屋は山の中であって、良い日和の時、海原をはるかに見渡すと、小さくて可愛い島が見えます。もし霧雨が降れば、山と海がぼんやりとだけ見えます。



三回目の来日である私でも、和歌山の独特さもしっかり感じられて楽しめます。名古屋での交流生活では、毎日地下鉄で学校に行きました。回りは真顔の会社員と眠そうな学生でいっぱい、なんとなく私も緊張してしまいました。そのようなことは、和歌山でほとんど感じられないのです。部屋から最寄りのコンビニも歩いて二十分ぐらいかかります。エレベーターの中に貼っている「イノシシ出没」という提示や、通学路で出会った強そうな昆虫のことを理解できるになりました。

自然風景より、和歌山で出会った人々からの温かさがもっと大事です。学校の前の交差点で学生たちの安全を守ってくれているスタッフさん、いつでも親切に私に教えてくださった日本人の先生方、教室で一緒に頑張っている各国の友達、街角で果物の店を営むおばあちゃん…私に温かさをくれた人々は、星のように輝いています。いつのまにか、「和歌山」といえば、ただ地図にのっている名前だけではなく、私の思い出を載せて、身を落ち着ける場所となっていました。

私は、寮と学校での日常生活だけでなく、様々なところも行きました。サイクリングで和歌山県内に探険した時、汗ばんでいても、青い空の下、肌で感じる心地よい風に癒されました。また、豊かな自然を満喫できる和歌山と、いつでも外国の観光客が多くいる難波

とをつなげる電車は、バランスが取れていると思います。私は、大学一年生の時、広島大学の二週間のプログラムに参加したこともあります。日本に初めて来たのは楽しかったですが、交通が不便なので、毎日学校から寮まで、寮から学校までの繰り返しで、ちょっとつまらなかったです。しかし、今度、和歌山での生活はずいぶん違います。電車でなんぼに行くと、和歌山から、日本、もしくは世界中のどこでも行けるぐらい無限の可能性が見えます。

数多くの日本の行楽地をたずねたい、数多くの日本人に触り合いたい、そういう気持ちは、和歌山にいるからこそ生み出されるのだと言っても過言ではありません。自分の考えを、日本語でもっと上手に説明できるようになるため、これからも、一生懸命勉強したいと思っています。